

令和2年度第1回柴田町男女共同参画推進審議会 議事概要

【日 時】

令和2年7月30日（木） 午後2時～4時

【場 所】

柴田町役場保健センター4階 軽運動場兼会議室

【出席者】

柴田町男女共同参画推進審議会委員 9名 ※1名欠席
事務局（柴田町まちづくり政策課） 4名

【資 料】

- ①令和2年度第1回柴田町男女共同参画推進審議会次第
- ②令和2年度第1回柴田町男女共同参画推進審議会協議の進め方について
- ③第4次しばた男女共同参画プラン 施策事業評価シート
- ④柴田町男女共同参画推進審議会条例
- ⑤令和2・3年度柴田町男女共同参画推進審議会委員名簿
- ⑥第5次しばた男女共同参画プラン（仮称）策定に関する考え方
- ⑦第4次しばた男女共同参画プラン
- ⑧第4次しばた男女共同参画プラン 計画の体系

【内 容】

進行：事務局

※審議会は公開とされているため、録音機器で協議を録音したものをもとに議事概要を作成し、町ホームページで公開する旨を説明。

【議 事】

1. 委嘱状交付

委員改選に伴い全員に委嘱状を交付。

2. あいさつ（柴田町長：滝口茂）

1996年6月に男女共同参画社会基本法が制定されてから21年目を迎えます。この20年間の私の印象ですが、若い方たちは「夫は外で働き、妻は家を守るべき」という考え方をあまりしなくなったのではないかなと思いますし、家事の面でも、役割分担をして共同で行っているような印象を受けます。それから地域社会においては、女性がリーダーとして活躍する場面も増えてきて、男女共同参画社会への実現の流れが柴田町にあると思っています。

ですが、残念ながら、経済社会においては、まだまだ女性は単純な仕事にウエイトを置いて雇用されており、管理職への登用も十分ではありません。国のライフワークバランスも現実的にはまだまだ進んでいないのが実情であり、ましてや、我々と同じ政治の世界は、男性社会であるため、ここを変えないといけないと思っています。日本の社会においては、出生率が過去最低を更新しており、これが一番男女共同参画社会の成果が上がっていないという原因に結びつくのではないかと私は思っています。人口が減り、地域経済がガタガタになることで、企業では、やはり自分に都合のいいような雇用環境を築くということになり、それが経済格差、子どもの家庭の貧困につながります。ましてや、コロナの影響でいろんな事業所の雇用関係が厳しい状況になっていますので、男性も女性も働きたいんだけど働けない。こういう中で男女共同というのは、やはり国にしっかりとした将来像を描いてもらわないと、末端の地方自治体だけでやるというのはなかなか難しい時代になっています。特にショックだったのは、3か月の赤ちゃんをマンションに置き去りにして、生活のために16時間働かなければならなかったという逮捕された母親の言葉を聞いて、これが現実なのかと、政治家として^{じくじ}忸怩たる思いをしたことがあります。DV等もありますし、もう男女共同参画以前の問題ではないかなと思います。ただ、嘆いてばかりはいられませんので、町として単独で行える政策をやっていかないといけないということで、審議会の皆さんには、町でやれる分の政策についてご指導いただきたいと思っています。

町として喫緊に対応しなければならないのは災害です。災害時に女性の視点からの避難所をどう運営していくかと、実は去年の台風19号までは、そういう視点が町には全くありませんでしたので、こういうところに目を向けていかないといけないと思っています。

息の長い男女共同参画社会の実現でございますので、委員の皆さんからご意見を賜りながら、政策に反映させていきたいと思っていますので、どうぞよろしく願いいたします。

3. 委員の紹介

※名簿順に事務局から紹介及び各委員から自己紹介。

4. 会長及び副会長の互選

委員から推薦あり。会長に作山美智子委員、副会長に青木明委員が推薦され、全会一致により決定。

【会長あいさつ】

僭越ながら、この度会長を拝命いたしました作山でございます。

私の大学では、今回のコロナの影響で、遠隔の環境が整っている学生と、パソコンやインターネット、もちろんWi-FiもないようなICT環境が全く整っていない学生の格差をものすごく感じました。でも、なければならないなりに、知恵を出し合って、どういうふうにしてそ

の格差を解消しようとか、いろいろなことを考えさせられました。

このような男女共同参画の中においても、何が無い、かになが無いというのではなく、私たちがいろんなアイデアや知恵を出し合って、解決策を考える大切さも試されているのかなと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

5. 議題

第4次しばた男女共同参画プランに基づく平成31年度・令和元年度事業実績及び令和2年度事業計画について

～事務局から平成31年度・令和元年度事業実績及び令和2年度事業計画について報告～

<会長>

ありがとうございます。事務局から全35事業計画について、主なところを抜粋してご説明いただきました。委員の皆様も事業の中身を確認するのは結構大変なことだったのではないかなと思うんですけども、ご質問等がございましたらお受けしたいと思います。

<委員>

今日初めて出席したんですけども、わからないところがありまして、7ページの女性認定農業者というのはどういう性格のものなのでしょうか。

<会長>

事務局にご説明をお願いしてもよろしいでしょうか。

<事務局>

農業者が農業基盤強化促進基本構想というものに示された農業経営の目標に向けて、自らの創意工夫に基づいて経営改善を進めようとする計画を市町村がまず認定をし、その認定を受けた農業者に対して重点的に支援制度を講ずる制度をいいます。この支援措置というのは、金融措置や税制措置です。ある程度大規模な農地を所有していて、ある程度の稼ぎがあるというのが前提条件のようです。

<委員>

認定を受けるためには、試験というか、そのような機関があるのですか。誰が認定をするのですか。

<事務局>

市町村が認定をします。

<委員>

市町村で認定、町の誰かが認定するということですね。
そして認定された場合、どんな支援をしてくれるのですか。

<事務局>

金融措置や税制措置といった支援があります。

<委員>

税金が安くなったり、少し金銭を援助してくれたりですね。わかりました。

<会長>

よろしいでしょうか。
その他の委員はいかがでしょうか。

<委員>

私も初めて参加させていただくんですけど、町長もおっしゃったようにやはり一長一短があり、難しいと思うところがあります。

以前、組織における男女共同参画について担当していたことがありました。計画と実績を見ますと、苦勞なされているところ、なかなか実績が出ないところもあり、一長一短がありますが、前に進めていけたらなと感じたのが率直な感想でございました。

<会長>

委員のバックグラウンドの中で、何か接点があるところでお気づきの点はありましたか。

<委員>

先ほど、認定農業者のお話がありましたが、農産物の加工など、女性農業者の育成という面においてはJAとしても様々な取り組みがあります。営農指導に関する資格について女性職員の有資格者を増やしており、農産物の加工面では、女性が中心となるのではないかと思います。また、組合員の組織としてJA女性部の活動があり、このような活動が活発になることが、ひいては農業面における男女共同参画に繋がっていくのではないかなと感じたところでした。

<会長>

ありがとうございます。
それでは、その他の委員はいかがでしょうか。

<委員>

12 ページの育児ホームヘルパー派遣ですが、件数が増えていることがとても喜ばしいなと思いますし、だんだんこの事業がわかってきて、利用される人たちが増えているのだと思います。やはり産前産後ってとても不安な状況なので、こういったのを利用していただいて、人材的に必要であればシルバーのほうの事業と結び付けられればもっといいのかなと感じています。過去に利用した町民の方から直々にご依頼がありまして、単独でシルバーでお伺いしているところがあります。でも、コロナの影響でお伺いすることができないので、その人が今どうしてるかなという心配はありますが、本当にもっとこの事業が広まっていけばいいなと思っています。

それから 5 ページの新商品の発売につながったとあるんですけども、正直どんなものだったのかなと思いました。みんなにもっと PR をして、広まっていけばいいなと思っていたので、どんな商品だったかと、PR はどうだったのかなということをお伺いします。

<会長>

では、事務局から説明をお願いいたします。

<事務局>

すみません。新商品について確認をしておりますでしたので、担当課の農政課にどんな新商品を開発、販売しているのか、確認をして回答を差し上げたいと思います。

<会長>

それでは、その他の委員はいかがでしょうか。

<委員>

11 ページの健康推進課のところなんですけれども、保健師の退職や、募集をかけても入ってきていないというところなんです。私の子どもはだいぶ大きくなっているのですが、子育て中の不安など、そういった部分で切れ目のない支援を続けていくために何とか保健師の確保をしていただければなと思いました。

あと、15 ページのひとり親家庭。私もシングルマザーで子育てをしています。今回のコロナ禍で、ひとり親家庭のお子さんの悲しい事件等もありますので、そういった意味でも支援を確実にできるような体制を整えていただきたいなと思います。

あと、女性の管理職の登用について、やはり男性に比べると、私もずっとフルタイムで働いていますが、働きながら、子育てをしながらというところでは、やはりまだまだ恵まれていないところがあるのかなというふうに思っています。学校の役員等も長くやっていますが、やはりまだまだお父さんたちの力が不足していて、いろんな役員のメンバーを見ても、お母さんたちが頑張ってやってくださっていることがほとんどなので、もっと積極的に

お父さんたちが学校の役員等を受けていただいて、子どもたちのために頑張ってくれたらいいなと思っています。

<会長>

事務局のほうで保健師がやめた理由等について、何か原因があったんでしょうか。

処遇は結構いいはずですよ。仕事内容がちょっと多すぎたとか、何かそういう理由ですか。

<事務局>

原因というのは特別伺っておりませんでした。一人一人が抱える件数が多かったのか、詳細まではちょっとわからないですね。

<会長>

いつもこの領域ってなかなか大変な思いをしていますよね。

でも、今回のコロナの影響もあって、やはり医療職はとても大事ですよ。

<委員>

例えば保健師が何人いるとか、それが適正な人数なのか、全体的な数としてやっぱり少なくて一人あたりの仕事量が増えてしまって、ちょっと無理かなという気持ちにさせてしまうのか。ギリギリの人数を雇用するのではなくて、長い目で見て、少し多めに採って、一人あたりの仕事量をなるべく増やさないような工夫が必要なのではないかと思います。

我々だいたい高齢になってきたので、やはりいろんな意味で保健師は必要な仕事になると思うので、財政的には大変かもしれないですけど、どうぞよろしくお願いいたします。

<会長>

それはきっと町民の声の代表ですよ。100歳まで生きる長寿の時代になってきているので、どういうふうに健康を支えていくかというのは考えることは必要です。町がどこにウエイトを置くかというのは、大事なことじゃないかなと思います。

<事務局>

保健師については、処遇面や時間外勤務とか、いろいろな要因があるのではないかと思います。

あと保健師の採用人数を増やすということですが、町の職員全体の組織体制にも大きく関わってくると思いますので、審議会でこういった話があったということをお伝えしながら、少しでも改善できればなと思います。

<会長>

おっしゃるとおりですね。ありがとうございます。

それでは、その他の委員はいかがでしょうか。

<委員>

全体的に見て、最初の頃と比べたらシートも素晴らしくなっていると思います。このPDCAの中で、何が原因かというのを書き加えていくことによって、次の改善に繋がり、より明確になり、次の新しいプランも作りやすくなるのではないかなと思いました。

それから、コロナの関係もありますので、従来のこの数値目標っていうのは崩れると思うんですね。人を集めて何かやるということは、難しい状況であると思います。既成概念を持たずに、これからの新しいやり方を模索する時代になっているんだなと、私自身仕事の中で感じています。計画を一旦作り直すというのも、大変なご苦労だと思いますが、息の長いもので、一足飛びにはできないと思いますので、着実に一步一步進むのがいいのかなと思いました。やはり啓蒙活動の一環で、意識を変えていくことが大事で浸透しやすいんだろうと。今後とも大変でしょうけれどもよろしくお願ひしたいと思います。

<会長>

まさにその通り。数値目標はどのくらいで回復するのは、とても厳しい状況かなと思います。

次の委員はいかがでしょうか。

<委員>

全部読ませていただいて、委員の方たちの疑問も、私の疑問になっております。

町を激賞するところは8ページです。国の女性の登録目標の政策に反して、よくぞ女性の管理職を入れたなと思いました。ちなみにこの女性何歳ですか。

<事務局>

課長補佐ですから、40代後半ですね。50代もいらっしゃいます。そこはちょっと幅がありますね。

<委員>

実際にこの管理職の方をあげてもらったっていうのは、やはり柴田町は素晴らしい。これ一つで国の政策に勝る素晴らしいものだと思います。でも、やっぱり世界的に見ると、日本の男女の比率ってすごく後進国なんですね。男女共同という言葉聞いたときに、皆さんパッと『あ、そういえばうちの議会って女の人半分くらいだ』という、見える化で評価すると思うんですよ。だから柴田町は国の政策に捕らわれないで、どんどん実践して行ってほしい

と思います。

それから2つ目は、施策事業について、全部で35件あるんですね。ABCDEの数を全部調べましたが、Aは0件、Bは9件、Cが1件、Dが13件、Eが12件ありました。実はBの9件のうち、4件とも農政課が入っているんですよ。ということは、正直言って、国の農業施策に対して意識が低いために、地域の農業に携わる人とか農政課の人が非常に苦しんでいるというのがこういうところで見られますよね。

それから26ページ。これが全てですね。実はこれが一番大事で、町では栄養士何人必要かな、農業者には何をどうすればいいかなというのは、これを根底にしたら全て解決するんじゃないですか。

それから介護についても、避難所にお年寄りの方が一人で避難するには、シルバー人材センターの人を雇うとか。災害を根底に置くと、いろんなものに男女共同の作用が絡まってくると思います。50年に一度の未曾有の災害ですごく感じましたね。

それからもう一つは11ページ。8名全員不合格とありますが、これは成績が悪かったんですか。それとも単位が足りなかったんですか。

<事務局>

採用基準を満たす者がいなかったと聞いております。

一次試験ではある程度統一の点数があって、それ以上の点数を取らないと二次試験にいけないというのがあります。

<会長>

公務員になるためには、やはりきちんとした試験を受けるというのが大事ですね。

年度末に定員に満たない場合は、別な試験はないのですか。

<事務局>

職員の適正化管理計画というのがあって、長期を見越して、行政職、建築、土木、保健師、栄養士など全て網羅されて、何年度に何人を採るという計画に基づいて採用していきます。でも、やはり試験ですので、まず一次の一般教養があって、二次の面接に進んでいくんですけども、どうしてもうちの欲しい人数と実際の合格者に差が出てきます。先ほど作山会長が言ったように、どうしても足りない場合は追加というのがあるんですけど、そこで必ずなるかと言ったら、募集しても他の市町村とか民間とかも全て決まっていて、どうしても欲しいんですけど応募がない。特に保健師については非常に少ないので、どこの市町村でも取り合いというか、どこでも欲しがっている状況です。宮城県市町村全体で、保健師のための採用のセミナーを県庁でやっていて、募集をしている状況です。

<委員>

増設した私立幼稚園の先生、保育士は確保できたんですか。

<事務局>

私立幼稚園は民間の幼稚園なので、民間で保育士を雇っているかたちですね。公立の槻木保育所などは町の保育士です。

<委員>

そこを褒めたかったんです。町で去年、一昨年からつくるって言って、つくったというのがすごいと思います。待機児童を少しでもなくすという、やっぱり私たちが気にしているようなことが毎年毎年一つずつクリアされているということが、僭越ながら素晴らしいと私はいつも感心しております。

<会長>

あと、いきなりですが、29 ページの生涯学習に関する定年退職後の男性の生きがいくりのための事業について、他に何か意見等はなかったでしょうか。

<委員>

これと直接関係があるかわからないんですけども、今地域の人で『おむすびころりん』という読み聞かせの会をつくっています。船迫小学校に毎週水曜日に子どもたちに、私は4年生と6年生を担当していますが、6年生には短編小説や詩の朗読、それから6年生にふさわしい絵本があれば読んでいます。みんなお年寄りで、年齢は私が81歳で一番上なんですけれども、そういうかたちで地域の中でいろいろ動いています。

先ほどのPTAの役員のなり手がいないという話ですが、船迫小学校、中学校のPTA会長を私ずっとやっけていまして、女性が会長をやったのは1回で、そこから会長は全部男性がやっています。私は、女性がPTA会長をやってもいいと思います。男女共同参画でいろんなことやらないといけないとから、そういうことは大いに賛成です。

ただ、なり手がいないというか、お母さんたちもいろんな行事の時に仕事を休んだりしないといけなかったり、煩雑な面があるので、子どもを子ども会に入れられないんですよ。今、子ども会もだいぶ縮小されちゃって、本当に男性と女性それぞれ3、4人くらいで廃品回収して歩いているんですが、そういう現象が今地域の中には生まれています。昔は、子どもを通してお父さんとお母さんが飲んだり、あっち行ったりこっち行ったりしてみんなで仲良く地域を保っていたのですが、今はそういうのも非常に希薄になってますね。

<会長>

ありがとうございます。シルバーの方たちが活躍しているというのが、すごく楽しく感じました。私は放課後児童クラブで学生たちと一緒に音読の会のボランティアをやっていまして、子どもたちに論語を読ませたことがありました。短いセンテンスに飛びついてきまして、障害を持った子たちが『剛毅木訥仁に近し』なんてちゃんと言うんですね。

<委員>

柴田町の図書館でも我々のグループが、土曜日に月に3回くらいずつ読み聞かせをしています。

<会長>

素晴らしいですね。ありがとうございます。

それでは、その他の委員はいかがでしょうか。

<委員>

この第4次男女共同参画プランをつくる時から、この会に携わっていたので、もう最終の年度になったんだなと思いました。この4年間に、プランをつくった当初のものの考え方と今現在若干違ってきているんですね。当初は、やはり女性の活躍を促すような感じのものの考え方で、どうしたら女性がもっといろんなところに出てきて、活躍できるのかなと、そのためにプランを考えたような気がしています。

ただ、今現在いろいろ見渡すと、女性の活躍が目立ってきて、その代わりに男性が女性のほうに押され、引っ込み思案になっているという感じがします。女性は仕事に対しても前向きに考えている姿が見受けられますが、最近の流れとしてはゆとりの世代の流れが男女ともに見えたりしています。ですから、今年度策定する第5次男女共同参画プランの中で、このような流れを含めて、ものの見方、考え方が変わっていくのかなと思います。総括的には、作成した当初から比べれば多くの項目で達成している部分が多いんじゃないかなと思っていて、中には、最初から最後まで全然変わらないという項目もありますけれども、多くの項目で努力が見られて、達成してきているのではないかなと思います。

話は変わりますが、先ほどの退職後の男性が地域に出てこないという問題を私も気にかけています。

私の住んでいるところは、私の生まれ育ったところそのものなので、周りに知り合いがたくさんいます。地域を活性化させてくれるような人材はたくさんいると思うんですが、どうやったらそういう人材を引っ張り出せるのか、この問題は審議会の中でも、何度か議論されたことです。女性は世代を通して活躍する場があるんですけども、男性の場合は仕事除くと、なかなか表立った活躍が見受けられなくなるのかなと思います。

ただ、上の年代の方は私から見たら羨ましい世代だなと思うんですね。仲間意識が非常に

強くて、ひと声かければ何人かは必ず集まってくる。それが若い世代になると、自分にとってプラスにならないかもしれないことに対して、面倒くさがって来ないという傾向もあるんじゃないかと思います。そういうことも含めて、今後もいろいろ考えながらプランをつくっていかなくちゃいけないのかなと思っています。

<会長>

ありがとうございます。

私はやはり 26 ページの避難所マニュアルの作成という事業ですが、私はこれにしつこく嘯みついてマニュアルを作っただけでいいのかということを何回も何回も書かせていただきました。このコロナ禍において、マスクの備蓄があるんだろうとか、消毒液やアルコールはやっと出回るようになってきました。私の大学では授業が始まる前に次亜塩素酸ナトリウムで学生たちがテーブルを拭いて、授業が終わったらまた消毒をして、それはもう徹底して、一人もコロナは持ち込まない、持ち出さないというのをモットーにやっておりますので、そのくらい徹底してやっています。しかし、この事業を見てみると、本当にこのマニュアルって作ればいいだけじゃないのですかとか、予算はつけないのですかとか、いろんなことをいつも感じてしまいます。以上でございます。

それでは何か追加発言等はございますでしょうか。

<委員>

特になし。

<事務局>

先ほどの委員のご質問に回答したいと思います。

5 ページの新商品ということで、農政課に確認をしてきましたら、研修会に参加してレシピや調理方法を教えていただいて、それを元に自分たちで考えてつくったお惣菜やお弁当を新商品として販売しているそうです。直売所で皆さんが立ち寄って買ってもらうような、そういったもの指しています。

あと昨年新聞にも載りました、パトロンというシシトウみたいな緑の野菜があるんですけども、そちらも柴田町の新たな地場産にしようということで、直売所に出したり、レシピを紹介したりして活動をしているということでした。

第5次しばた男女共同参画プラン（仮称）策定に向けての考え方について

～事務局から第5次しばた男女共同参画プラン（仮称）策定に向けての考え方について説明～

<会長>

ありがとうございました。

今のご説明にご質問等ございますでしょうか。

<委員>

特になし。

<会長>

かつて総理は日本の伸びしろは女性がいることだというような発言がございました。

ということで、いろんな感染症に関しても、女性の持って生まれた感性というんでしょうか、そういった配慮なんかも必要なのかなと思います。それでは以上でございます。

6. 閉会

【副会長あいさつ】

お忙しい中お集まりいただきまして、このような素晴らしい審議会を開くことができました。どうもありがとうございます。本当に何から何までコロナコロナで、非常に動きが取れない状況です。行きたいところに行けず、家に籠っているような状態が続いています。

皆さん、お体に気をつけながら、コロナに負けないで頑張ってもらいたいと思います。本日は本当にどうもご苦勞様でした。